授業科目名	キャリアデザイン（3）	単位数	1
担当教員名	古川　潔・千葉　翔太	担当形態	オムニバス
実務内容 （実務家教員の場合）			

「学位授与の方針」との関係

・人と仕事の共生について考えるためのツールとしてキャリア理論、情報活用、思考法を学ぶ。

・個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につける。

授業の到達目標及びテーマ

自身のキャリアをデザインしていくためのツールセットを修得する。

（1）　様々な事業や会社の現状、最新情報等を学び、就職とは異なる視点から俯瞰する。

（2）　さまざまなキャリア理論を自身のキャリア検討に適用し活用する。

（3）　創造的な思考につながる様々なツールを学び、実践する。

授業の概要

本講座では社会活動、発信をする側の視点からキャリアデザインについて考えていく。

世の中の会社がどのような理念に基づいて活動しているかを知ることを起点として、自身が求める会社や働き方のイメージを描くことに取り組む。そのためにキャリアコンサルタントからの最新情報も盛り込みながら、以下の項目を学修する。

（1）　日々変化していく社会の状況を「しごと」の視点から理解する

（2）　キャリア理論、キャリアモデルを援用して、社会参加のイメージを持つ

（3）　社会課題の発見、課題解決に向けての創造的な思考法と演習

多様な場所、立場、動機で参加している他の受講生と、対話を通じて学びを深められるよう、グループディスカッション等のアクティブラーニングの手法も用いて実施する。

授業計画

第1回：企業活動の読み取り方　企業の創設者と経営理念からストーリーを考える

第2回：企業活動の考え方　事業内容に適した法人を検討する視点を持つために

第3回：キャリア選択に関係する理論　クランボルツ、ホランドの考え方などの活用

第4回：多様なサービスの活用　職業情報提供サイト等から働き方関連項目を知る

第5回：3軸8クラスターキャリアモデル　チーム活動における自分の志向性を考える

第6回：イノベーティブな考え方　課題の設定法、発想法についてのワーク

第7回：他人プロデュース　社会活動を打ち出していく方法の検討

第8回：働き方のバリエーション①　新しいキャリアの考え方

第9回：働き方のバリエーション②　フリーランスという働き方

第10回：働き方のバリエーション③　副業の考え方、活用法の検討

第11回：働き方のバリエーション④　個人事業とさまざまな法人化

第12回：働き方のバリエーション⑤　ワークライフバランスとマネープラン

第13回：ビジネスフレームワーク①　視覚化して整理する方法を知る 第14回：ビジネスフレームワーク②　視覚化して整理する方法の演習 第15回：まとめ　①～⑭までのレポート・ワークシートをまとめて、ポートフォリオを作成する。
スクーリングでの学修内容 　上記　①～⑮までをスクーリングで実施する。
教科書 　なし　※　大学作成のワークシートを利用します。
参考文献 ティナ・シーリグ『未来を発明するためにいまできること』CCC メディアハウス
学生に対する評価 スクーリング評価（５０%)、科目修得試験（５０%）を総合して評価する。